

私事ではありますが、中学校、高校と部活動は野球を行っていました。甲子園を目指して挑戦し続け、仲間とともに過ごした日々は、人生において大きな糧となっています。練習試合や大会の時にいつも監督から「強いチームは野球以外でもお手本となる言動がある」と言われていました。あいさつ、返事、時間を守る、道具はいつもきれいに並べてあることは当たり前。私が一番素晴らしいと思ったことは試合が終わった後、レギュラー組が率先してグラウンド整備をしている姿です。レギュラー、補欠関係なく使わせてもらったグラウンドに感謝する気持ちは大人になっても持ち続けたいと思いました。

昨日、町の陸上大会が行われました。本校や他校の子どもたちの、一人一人は自己記録、リレーはチームの記録を目指して挑戦している姿は素晴らしいです。どんなスポーツにおいても真剣勝負は気持ちがいいものです。

大会の全競技が終了し、閉会式を待つばかりとなった時、他校の児童数人がトンボを使って400Mトラックを整備していました。競技者が大勢いる中で、自ら進んでグラウンド整備をするその姿にとても感動しました。きっと普段からこのような行動をしているのでしょうね。

「お疲れ様」と近くによってひと声かけようと思ったら、当日の大会でも素晴らしいアナウンスをしてくださった通告の先生が『競技が終わってもグラウンド整備を行ってくれている児童の皆さん、最後まで本当にありがとう』と声をかけてくれました。競技場にいた全ての人の心に届けられたアナウンスでした。

**今年度のテーマ「挑戦」 2学期のテーマ「あきらめない」**

**～挑戦し続ければ、人は必ず成長する～**